

## 茶郷川の治水対策に関する勉強会を開催

8月4日(水)、市役所大会議室において、「茶郷川の治水対策に関する勉強会」を開催しました。

6月に開催した総会で「委員が協議会設立当初と替わってきている。なぜ、茶郷川治水協議会を設立するにいったのか、再度委員の中で共有した方がいいのではないか。」という意見があり開催したものです。

勉強会は、事務局から茶郷川の変遷や、市街化の状況、茶郷川治水協議会を設立した経緯などについて勉強しました。

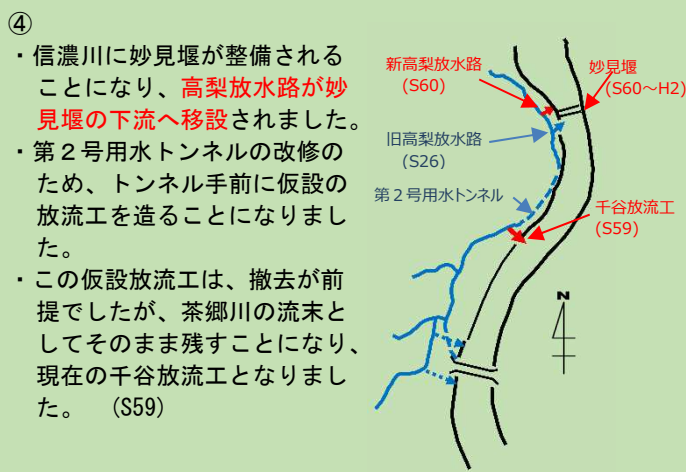
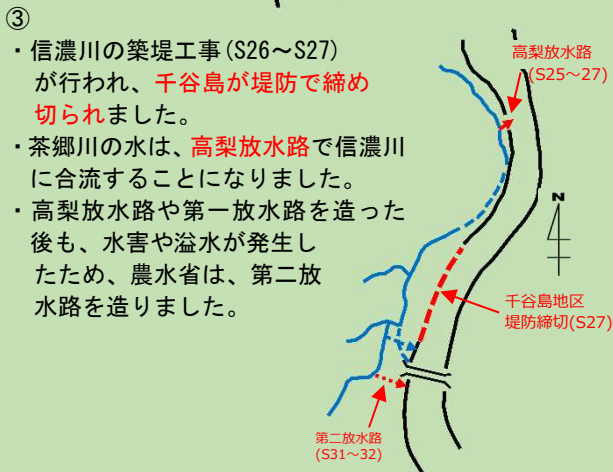
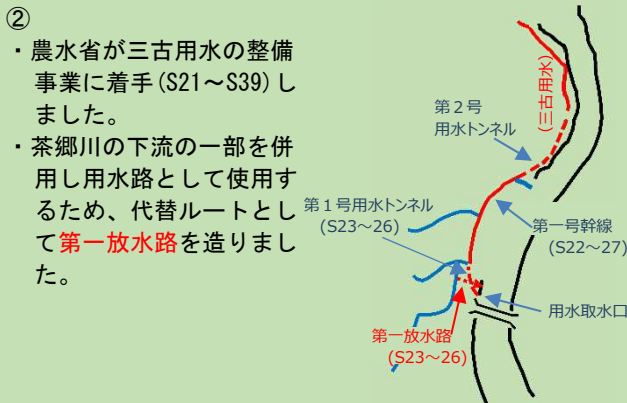


### ■ 説明内容の一部を紹介します

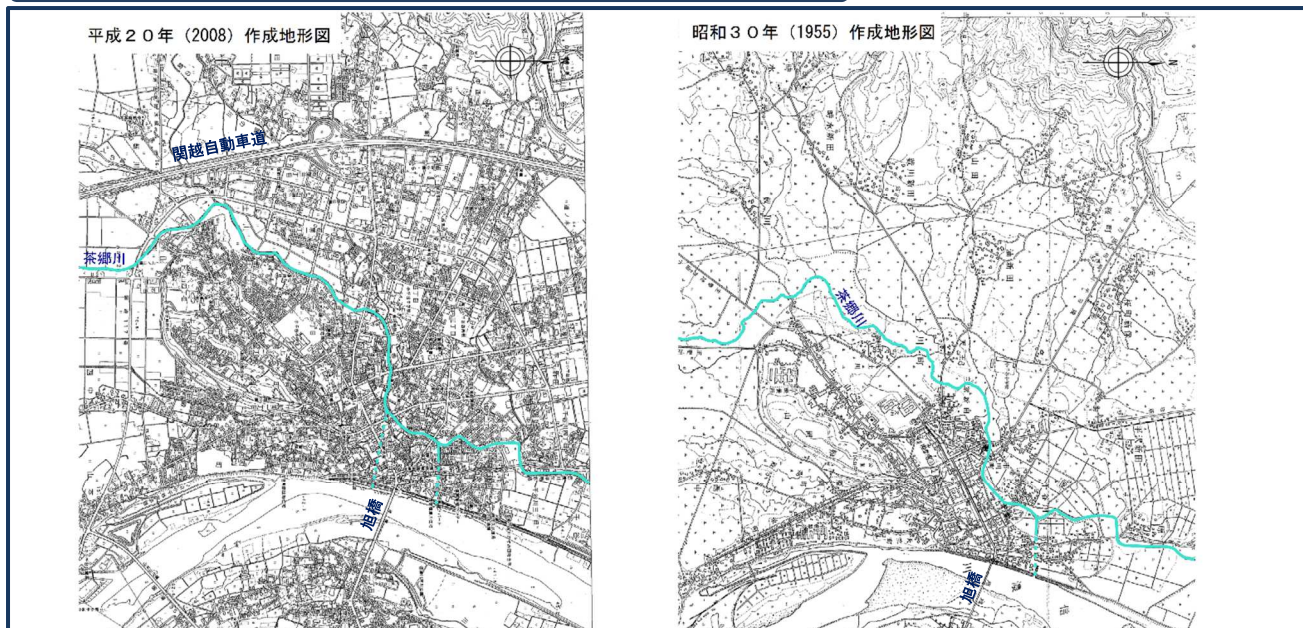
#### 茶郷川の変遷

茶郷川の下流が現在の形状になったのは、農水省の三古用水の整備が大きいかかわっています。

三古用水の整備が行われている間、河川管理者である新潟県も茶郷川の改修に向け住民と協議を進めてきましたが、用地の取得困難などの理由で改修ができなかったようです。



## 平成20年と昭和30年の地形図の比較 市街化の状況



昭和20年代以降の市街地の拡大、都市開発は目覚ましいものがあり、特に関越自動車道の開通により、一層開発が進展しました。

農地の宅地化、小排水路のコンクリート化、本川の災害復旧による護岸のコンクリート化などにより、茶郷川への雨水の流出量の増、洪水到達時間の短縮などにより茶郷川の水害リスクは年々高まっています。

### 茶郷川治水協議会の設立趣意

茶郷川は、幾度となく水害が発生しながらも、抜本的な治水対策・河川改修がなされずに現在に至っています。

平成23年7月に発生した新潟・福島豪雨では、本市の市街地を縦貫している茶郷川は、過去に例を見ない洪水が発生し、沿川の住宅や企業に未曾有の被害をもたらしました。

このまま治水対策を講じないとさらに被害は拡大し、かつ甚大になることが危惧されるため、茶郷川に関係する町内会や関係団体で協力して河川改修をはじめ、でき得る治水対策事業を行うことにより、沿川住民や企業の被害軽減を図ること、また四季折々の豊かな景観など多くの恵みを楽しんでいる茶郷川の環境美化を図ることを目的として、平成24年12月に「茶郷川治水協議会」を設立したものです。

## 排水ポンプ車稼働訓練実施

小千谷市主催により、国土交通省信濃川河川事務所越路出張所、新潟県長岡地域振興局小千谷維持管理事務所、信濃川左岸土地改良区の協力のもと、6月3日に千谷運動公園隣接の茶郷川樋門で、洪水発生時の初期対応訓練が行われ、樋門操作と排水ポンプ車による排水訓練を行いました。

参加者は、災害発生時にスムーズに作業ができるように、協力して訓練に取り組んでいました。排水ポンプ車1台で、積載の4台の水中ポンプで1分間に30m<sup>3</sup>(30,000ℓ)の水を排水することができます。(25mプールの水を10分で排水)

